

# 突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

## 顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える

## 高齢者



## 頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立っていられない

## 手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

## 胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

## おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

## 意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

## けいれん

- けいれんが止まらない

## けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



## 吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

## 飲み込み

- 物をのどにつまらせた



## 事故

- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた

◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎

高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!



# 救急車が来るまでに、用意しておくと便利なもの。

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬  
(おくすり手帳)

## 乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル



# 救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。

- 事故の状況や体調が悪くなつてから  
救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなつた応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報  
  
持病、かかりつけの病院やクリニック、  
普段飲んでる薬、医師の指示など
- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、  
日頃からメモにまとめておくと便利です。



○本資料は、緊急度が高い（赤に該当）ことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状のうち、特に知つてほしい症状をまとめています。  
○ここに掲載がない症状等については、救急受診ガイド2014年版をご覧ください。  
○救急受診ガイド2014年版は左ページの2次元バーコードまたは、消防庁ホームページへアクセスしてください。  
○緊急度とは様々な症状等を赤、黄、緑に分類し、医療機関を受診するための手段と受診する目安を示したものであります。

**赤**『救急車を呼びましょう』

**黄**『今すぐに医療機関を受診しましょう』

**緑**『医療機関を受診しましょう』